

キンギョソウ

本来は多年草であるが、日本では一年草として扱われている。
切花の他、花壇や鉢物としての需要も多い。

学名 *Antirrhinum majus* ゴマノハグサ科
和名 金魚草 (キンギョソウ)
原産地 ヨーロッパ

特性・・園芸的には一年草。耐寒性に乏しい。
開花特性・・相対的長日性
開花期・・
栽培環境・・土質は選ばない。

1 坪あたりの植え付け本数・・約 80 本/坪 (ピンチ)
約 120 本/坪 (ノーピンチ)

1 株あたりの採花本数…約 1~4 本
価格・・品種により異なるためカタログ参照



播種

播種時期・・周年可能
発芽条件・・好光性
発芽適温・・18~20℃
発芽日数・・約 5~7 日
(20℃以上では発芽率が低下し、発芽勢もばらつく)

定植

定植時期・・周年可能
定植間隔・・株間 20cm 条間 10cm の 6 条植え、中 2 条抜き (ピンチ)
株間条間 12cm の 6~7 条植え (ノーピンチ)

畝・・100cm
ネット・・10~12cm 角を 2~3 段
マルチ・・

肥料

元肥・・N-P-K=1.5-1.5-1.5kg/a
pH ・・5.5~7.0
追肥・・N-P-K=1.0-1.0-1.0kg/a
(軟弱になるようなら窒素分は控える)

作型

◆普通栽培・・6~7 月播種、7~8 月定植、10~11 月出荷。晩生系使用。(1 回切り)
◆加温ハウス栽培・・7~8 月播種、8~9 月定

植、11~12 月出荷。2 番花 1~3 月出荷。
10℃加温。5 節頃、2 節残してピンチ。
側枝は 2~4 本に整理する。早生系使用。

◆高冷地向け栽培・・2~3 月播種、4~5 月定植、6~7 月出荷。2 番花 9 月出荷。5 節頃、2 節残してピンチ。側枝は 2~4 本に整理。早生系使用。

病虫害

病害：立ち枯れ病、疫病、菌核病、灰カビ病
虫害：アブラムシ、オンシツコナジラミ、スリップス、ハモグリバエ

出荷

朝か夕方、4~5 輪開花した頃が切り前の目安。
採花後は速やかに水あげをする。

管理

生育適温は 15~20℃。
5℃程度では問題ないが、0℃以下の低温には極端に弱く、凍害を受けやすい。特に 0℃以下の条件で 1 時間経過すると生育停止。3 時間以上経過すると 100% 花とびを起すか、株自体が枯死するので注意。

冬期の電照は開花促進に効果がある。16 時間の日長延長か、3 時間の暗期中断が効果的。
花穂が曲がりやすいので、特に後半の過湿は避ける。